

人形淨瑠璃

文樂協会創立60周年記念
二〇二四年三月地方公演

文樂

昼の部

義経千本桜
よし つね せん ほん さくら
椎の木の段
しい きのわのだん
すしやの段



夜の部

桂川連理柵
かつら がわ れん りのしがらみ
六角堂の段
ろっ かくどう のだん
帯屋の段
おび や のだん
道行隴の桂川
みち ゆきおぼろ かつらがわ



文化庁

主催 公益財団法人文樂協会 助成 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) 独立行政法人日本芸術文化振興会／朝日新聞文化財団

2024年3月 地方公演チケットお問い合わせ先

3月1日(金) 京都府立文化芸術会館(京都府京都市) 075-222-1046
2日(土) [2日は上演順を入替]

3月10日(日) アクリエひめじ中ホール(兵庫県姫路市)【義経千本桜のみ上演】
[チケット問い合わせ: キャスパホールプレイガイド] 079-284-5806

3日(日) 戸畠市民会館(福岡県北九州市) 093-562-2655
[チケット問い合わせ: J:COM 北九州芸術劇場]

9日(土) あましんアルカイックホール・オクト(兵庫県尼崎市) 06-6487-0810

14日(木) 高崎芸術劇場スタジオシアター(群馬県高崎市) 027-321-3900

16日(土) 府中の森芸術劇場(東京都府中市) 042-333-9999

17日(日) 久居アルスプラザ(三重県津市) 059-253-4161

文楽協会創立60周年記念 二〇二四年三月地方公演配役表

星の部

解説 (あらすじを中心に)

義経千本桜

椎の木の段

口 竹本 南都太夫

鶴澤 燕二郎

奥 豊竹 靖太夫

鶴澤 清志郎

すしやの段 切竹 本千歳太夫

豊澤 富助

鶴澤 藤清太夫

奥 豊竹 靖太夫

鶴澤 清志郎

すしやの段 切竹 本千歳太夫

豊澤 富助

鶴澤 藤清志郎

(人形役割)
豊 竹 靖太夫
桐 竹 紋玉
吉 田 玉紋
吉 吉 吉 吉
吉 吉 吉 吉
田 田 田 田
田 田 田 田
玉 玉 和文一
玉 玉 玉 玉
いいい 助志生 昇輔 男臣 勢吉
勢 勢 吉 延

離子 望月太明藏社中

夜の部

解説 (あらすじを中心に)

桂川連理柵

六角堂の段

豊竹 胜平夫

野澤 瞳太夫

豊竹 燕三

野澤 稲田

豊竹 呂勢太夫

野澤 錦糸

豊竹 稲田

野澤 稲田

豊竹 稲田

野澤 稲田

豊竹 稲田

野澤 稲田

豊竹 稲田

野澤 稲田

野澤 稲田

野澤 稲田

(人形役割)
竹本 碩太夫

(人形役割)
丁稚長吉

娘お半

桂川連理柵 六角堂の段・帯屋の段・道行臘の桂川

帯屋長右衛門の娘お半と関係—旅先で、夜

中、いやらしい丁稚から逃げて来たお半を、まだ子供だと思つて自身の蒲団の中で寝かせてやつたのが、間違のもと。しかも、お半は妊娠。恩のある隣家妻にはもちろん養父にも顔向けできない、取り返しのつかない過ちに、自らを責め、苦しむ長右衛門。それに対し、お半は、妊娠に悩みながらも、小さいときから大好きだった長右衛門以外、夫を持つ気などないとのこと。

このスキヤンダルを利用して、長右衛門を店から追い出そうと企むのが、養父の後妻とその連れ子。店の金をくすねて、罪を長右衛門になすりつけ、旅先での関係を記した長右衛門宛のお半の手紙を読み上げて、長右衛門を窮地に。

それを救ったのは妻と養父。けれども、長右衛門がお半のことを苦にして自害するのではないかと、不安になります。どうか死がないでほしい、二人の切なる願いを聞けば聞くほど、辛さが増す長右衛門。死んで詫びるほかない問題をさらにもう一つ抱えて、すでに死を覚悟していたのです。

この恋を思い切る、そう伝えて去つたお半が残したものは、桂川に身投げするとの手紙。15年前、桂川で芸子と心中するつもりでいるが、芸子の身投げ後、気が変わって死ぬのをやめた長右衛門は、芸子がお半に生まれ変わつて死へと招くようと思われ、桂川へ…。

菅専助による上下二巻の世話物で、安永5年(1776)に大坂の北堀江市ノ側の芝居で初演。題材は、1761年に京都の桂川で年齢差のある男女の死体が見つかった事件で、真相は不明ですが、一月後に心中として人形淨瑠璃化され、その後、宮蘭節の歌謡になり流行しました。

ご覧いただく下巻のうち、「帯屋」では、後半の養父、妻、長右衛門それぞの思いやりに満ちた真情吐露が聞きどころ。後妻親子が派手に動く前半の丁稚との抱腹絶倒のやりとりも、ぜひお楽しみください。道行は、原作ではなく、のちに宮蘭節から取り入れたものです。

◎字幕表記がございます。席によつては字幕が見えにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。
◎出演者の急病やその他やむを得ない事情により、代役もしくは演目を変更して上演する場合がございます。あらかじめご了承ください。
◎上演中の客席内での写真撮影録画録音ならびに携帯電話スマートフォン・タブレット等の使用は固くお断りいたします。またオーディオ機器の観劇の妨げになりますので上巻中はお持ちの携帯電話スマートフォン・スマートウォッチ等は電源をお切りになるか音光振動の出ないように設定をお願いいたします。
◎観劇時は咳エチケットの励行ならびに、手洗いなどの感染症対策にご協力のほどお願い申します。

平家は滅亡。しかし、その嫡流、平重盛の子の維盛は生きてい、高野山へ入ったとの噂。京郊外に身を隠していた御台所は幼子を連れて高野山をめざし、偶然にも吉野で夫と再会。維盛は、かつて重盛に恩を受けた鮒屋の弥左衛門に匿われ、奉公人に身をやつしていました。思ひもよらない現実が明らかとなり、こらえられない涙。

一方、兄の権太は、ゆすり、かたりも日常茶飯事の悪党。鎌倉から詮議に来た梶原景時に、討ち取つた維盛の首と、捕らえた御台所、若君を差し出し、褒美の金を要求。忠義をほめ、梶原が去るや、激怒して、息子を刺す弥左衛門。

ところが、維盛一家は無事。首は維盛ではなく、連行されたのは権太の妻子でした。維盛の存在とその危機に気づき、これを機に心を入れ替えようと一念発起した権太。大きな犠牲を払つてみごとに梶原をだまし、維盛を救うことができた—と思いきや、昔、重盛に命を助けられた頼朝には維盛を殺す気などなく、出家させるのが望みで、梶原は偽首と知り受け取つていたことが判明。だまされていたのは自分の方だった! 権太は、今こうして命を落とすのも、これまでのかたりの報いと悟つて、悪事を悔い、絶命。維盛は、髪を切り、妻子と別れて高野山へ…。

並木千柳・竹田出雲(二代目)・三好松洛合作、淨瑠璃三大傑作の一つに数えられる五段続きの時代物で、延享4年(1747)、人形淨瑠璃全盛期に大坂の竹本座で初演されました。『平家物語』の中の、都に残した妻子を恋い慕いつつ、戦場を去つて高野山で剃髪。那智の沖で入水した維盛の物語を題材として、奈良県吉野郡下市町の老舗「つるべすし弥助」を舞台に一家の悲劇を描き、愛しい妻子を犠牲にした権太の悲しみが胸に迫る三段目をお届けいたします。